

法学部 法律学科

2017年度入学生カリキュラム

<カリキュラム情報>

- ◆ **カリキュラム・ポリシー** p.2
教育課程(カリキュラム)の編成方針。学科のカリキュラムは、学科の教育目標であるディプロマ・ポリシー(学位授与方針)に沿って編成されています。学科のカリキュラム・ポリシーを見ることで、卒業までの学びの展望を持つことができます。
- ◆ **カリキュラム・マップ^o [武蔵野 BASIS・学科科目]** p.4
科目の分野やレベルに沿って、学科のカリキュラムの全体像を示した学びのマップ。
- ◆ **卒業所要単位数** p.6
必修科目や卒業に必要な科目区分ごとの単位数を一覧にした表。未修得の必修科目がある場合や、卒業に必要な単位数が不足する場合、卒業要件を満たすことができないため注意してください。進級基準科目(進級するために単位の修得が必要な科目)についてもあわせて確認してください。
※総合GPAなど、卒業要件の全体は「学修の手引き」を確認してください。
- ◆ **開講表 [武蔵野 BASIS]** p.7
武蔵野BASIS(全学共通基礎課程)科目の一覧。開講表では単位数、開講年次、履修条件、選択必修の要件、休講科目など、科目の基本情報を確認することができます。各科目の授業内容はシラバスを確認してください。
- ◆ **開講表 [学科科目]** p.10
学科科目の一覧。開講表では単位数、開講年次、履修条件、選択必修の要件、休講科目など、科目の基本情報を確認することができます。各科目の授業内容はシラバスを確認してください。
- ◆ **履修モデル** p.13
学びの関心や将来の進路目標に沿った科目の履修例。履修計画を立てる際に、科目選択の参考としてください。
※履修モデル自体は卒業所要単位数を満たすことを保証するものではないため、卒業所要単位数と開講表を必ず確認し
たうえで履修計画を立ててください。
- ◆ **成果に基づき単位認定される科目** p.16
「留学の認定科目」「資格試験の合格による認定科目」「ボランティア活動による認定科目」の一覧。

付録：卒業所要単位表・開講表の見方

開講表の科目情報(科目名、履修条件、休講科目等)など、カリキュラム情報は科目が開講される年度により変更となる場合があります。毎年度、履修要覧に掲載される最新の情報を確認してください。

法律学科 カリキュラム・ポリシー

法律学科は、「新世代法学部」の学科として、法学および法律学を単なる知識ではなく「生きていく知恵」として活用し、ルールを創ることのできる人材の育成を目的とします。カリキュラムでは、法律科目を体系的に配置するとともに、基礎科目群、基幹科目群、展開科目群に分類する方式を取っています。また、学生の志向性に応じて、政治学・経済学・経営学の科目を隣接科目として設置し、履修・学修の便宜を図っています。

4学期制の導入に対応して、民法（総則・物権・債権）を2年次までに履修する「民事基本法先行集中学習」のカリキュラムを採用しています。3年次で学修する法律科目の理解に繋がるほか、宅地建物取引士、司法書士、行政書士など、士業試験の早期合格を可能にします。

学生の志向については、多数派であるビジネス志向、公務員志向、法曹資格志向を念頭に、必要かつ十分な法律科目のほか、民事法科目の充実、「資格ガイダンス」「地方公務員特殊研究」「企業エクスターンシップ」等の科目を配置しています。また、国家公務員（総合職・一般職）、地方公務員（上級職）合格のための特別プログラムである「育成プログラム」を設置しています。

講義科目のほか、演習科目として「プレゼミ」「ゼミナール」を設置しています。法情報リテラシーをはじめ、修得した法律学の知識を基礎に、現代社会の課題を多角的に発想する姿勢、課題解決のための論理的思考力を養成します。また、卒業論文の執筆を指導することで、表現力の向上を図ります。この他に、プレゼンテーション力の強化を目的とした「プレゼンゼミ」を設置しています。

知識・専門性：学びの基礎力を基盤とした専門能力

自ら教養・基礎学力を修得し、時宜に応じ発揮することができる【教養・基礎学力】

法学および法律学の専門知識を修得し、「生きていく知恵」として実践することができる【専門能力】

本格的な専門教育を受ける前に、全学共通の教養教育プログラムである「武蔵野BASIS」を履修します。「武蔵野BASIS」では、大学での学修に必要な基盤的な技法と知識の修得を目的として、「建学」、「健康体育」、「コンピュータ」、「日本語リテラシー」および「外国語」を学びます。また、同プログラムの「基礎セルフディベロップメント」において、「思想・芸術」、「国際・地域」、「社会・制度」、「人間・環境」、「物質・生命」、「数理・情報」の6分野を学ぶことにより、広い視野を備えたすぐれた人格の形成を目指します。

社会人として必要な礼儀・マナーについて、1年次の「法学1」、2年次の「プレゼミ」、3年次の「ゼミナール」「企業エクスターンシップ」を通じ体得します。

法律学科の学生に必要な科目（必修科目）のほか、学生の志向性・進路の実現に応じた科目（選択科目）を履修します。すべての学生は基礎科目（必修）である「法学1・2（法学の基礎・法学概論）」「憲法1・2（統治・人権）」「民法1A・B（総則）」「刑法1（総論）」を履修し、法学および法的思考の基礎を学びます。

ビジネス志向の学生は、基幹科目である「民法2A・B（物権・担保物権）」「民法3A・B（債権各論）」「民法4A・B（債権総論）」を2年次終了までに学修します（早期先行集中学習）。3年次には「民法5A・B（親族法・相続法）」「商法1・2」「会社法1・2」「金融法」「知的財産法」「IT関係法」「消費者法」「租税法1・2」などを履修します（宅地建物取引士、司法書士を受験する学生も同じ）。また、必要に応じて、経済学・経営学の関連科目を履修します。

公務員志向の学生は、ビジネス志向の場合に加え、2年次に「行政法1」「地方公務員特殊研究1・2」、3年次に「行政法2」「行政救済法」「租税法1・2」「地方公務員特殊研究3・4」などの法律科目を修得します（行政書士を受験する学生も同じ）。また、試験科目に応じて、政治学・経済学の関連科目を履修します。

法曹資格志向の学生は、法曹養成大学院進学（受験）または予備試験受験に必要な法律科目を中心に履修し、手続法（「民事訴訟法1・2」「刑事訴訟法1・2」）も学修します。

法律学の専門知識を「生きていく知恵」として社会において実践するため「企業エクスターンシップ」を履修します（必修）。民間企業・官公庁等の派遣先において、法の意味や役割を確認します。

関心・態度・人格：他者と自己を理解し、自発的に踏み出す力

「共生」の意味を理解し、他者に対して寛容になることができる【自己認識力・他者理解力】

社会現象に関心を持ち、問題・課題を認知・発見することができる【課題発見力】

自己決定・自己責任の考え方を貫くことができる【主体性・実行力】

正義感・リーガルマインドを重んじ、公共の福祉に寄与することができる【使命感】

個別の法律科目を学修することで、現代社会における様々な問題点・課題を自ら発見、認識することができます。「プレゼミ」「ゼミナール」では、問題点・課題に対する自己の立場を明確にするとともに、他者との共生の視点に立ち、多様な立場・主張を受容することを学び、ルールメイキングを通しての問題解決を可能にします。

公務員志向、法曹資格志向の学生が自己の将来について考えるための端緒として「資格ガイダンス」を設置するとともに、実社会での体験を他者理解や課題発見につなげることを目的として「企業エクスターンシップ」を設置し、必修としています。教育方法においても、個人参加型をコンセプトとし、大教室においても双方向授業の形態をとることで、学生の自主性と実行力を強化します。

思考・判断：課題を多角的に捉え、創造的に考える力

法律問題を多角的に分析し、批判的な視点から論理的な結論を導くことができる【論理的思考】

法令、学説、判例等の調査・分析によって、法的問題の解決策を導き出すことができる【課題解決力】

問題の発生を予測して、予防的な対応策を講ずることができる【創造的思考力】

既存の法制度にとらわれず、適切なルールを創り出すことができる【創造的思考力】

「プレゼミ」において、法律学情報処理の基礎を学びます。判例・論文等の情報ソースの理解、情報収集の方法、新法制定や法改正などの変化へ対応できるようにします。

「ゼミナール」では、各自の興味・進路に応じた専門分野について指導を行います。現行の法制度の理解に留まらず、法的課題の発見・予測といった視点から、法令・判例・学説等を用いての多角的分析や批判的検討の方法を学ぶとともに、課題解決力や創造的思考力を修得します。

「卒業論文」は学生自らが課題の設定を行い、自己の見解を適切に表現するものです。「プレゼミ」「ゼミナール」で修得した能力を論文作成において実践します。

実践的スキル・表現:多様な人々のなかで、自らの考えを表現・発信する力

外国語文献を読み、内容を理解することができ、また交渉の基礎となるコミュニケーションをはかることができる【語学力・コミュニケーション力】

法律レポート・論文・報告書を執筆のルールに従って作成することができる【表現力】

目標を実現するため、他者を理解・尊重し、適切な指示・指導を行うことができる【リーダーシップ力・チームワーク力】

英語の基礎力（読解力・リスニング力・記述力等）については、武蔵野BASISの「英語」を履修します（必修）。なお、法律学科では学科教育にTOEICスコアを活用するため、その取得を推奨しています（高得点者に対する学科表彰制度があります）。語学力を生かし、外国語文献・判例等を通じて外国の法制度を学ぶ学生のために、「国際法」「法律学文献講読（英語）」を設置します。比較法において主流とされてきた英米法（「英米法」）・大陸法以外に「アジア法（中国法・韓国法）」「アジア法（東南アジア法）」を学修します。

ビジネス志向の学生に対しては、渉外実務における英語力を向上を目的とした「ビジネス法律英語」を設置しています。海外での他者理解、異文化理解の実践を考える学生は、4学期制（主として第2学期）を活用して語学研修プログラムないし留学プログラムへ参加します。「プレゼミ」「ゼミナル」では、学生が中心となって報告や質疑応答を行うことで、「相手方の立場」を理解する、自己の主張を明確にする、議論を円滑に進行するための能力を修得します。また、法律論文、レポート、報告書等の作成についても併せて学習し、「卒業論文」へとつなげます。

1年 2年 3・4年

セルフディベロップメント科目		
☆ SD 101 基礎セルフディベロップメント(リベラル・アーツ7科)	SD 201 芸術のすすめ	SD 202 数学的ものの考え方
日本語リテラシー ☆ JL 101 日本語リテラシー	SD 205 人間の心理を探る	SD 206 生命科学と人間
外国語 応用	SD 209 現代メディアの探求	SD 210 社会情報と生活
AL 101/102 英語資格・ 検定試験対策A/B	SD 213 哲学への探索	SD 214 文化人類学への誘い
AL 301/302 English for Studying Abroad 1/2	SD 221 ホスピタリティマインド概論	SD 222 ホスピタリティマインド各論
AL 311/312 International Lectures 1/2		SD 231 プレゼンテーション
		SD 203 社会現象を分析する
		SD 207 市民の社会貢献
		SD 211 日本の歴史
		SD 215 文学を読み解く楽しみ
		SD 204 環境学への展望
		SD 208 市民生活と 権利を考える
		SD 212 外国の歴史

☆ 必修(進級基準科目)
★ 必修科目
必修科目
選択必修科目
選択科目
*各科目の履修条件は開講表を参照

情報科目				
☆ CLT 101 コンピュータ基礎 1	CLT 102 コンピュータ基礎 2	SIC 103 情報分析・創出・表現技法	SIC 104 プログラミングリテラシー	CLT 221 情報表現力 1

外国語									
☆ ENG 101 英語 1 A	☆ ENG 102 英語 1 B	☆ ENG 103 英語 1 C	☆ ENG 104 英語 1 D	★ ENG 201 英語 2 A	★ ENG 202 英語 2 B	★ ENG 203 英語 2 C	★ ENG 204 英語 2 D	★ ENG 301 英語 3 A	★ ENG 302 英語 3 B
CHN 101 中国語 1 A	CHN 102 中国語 1 B	CHN 103 中国語 1 C	CHN 104 中国語 1 D	CHN 201 中国語 2 A	CHN 202 中国語 2 B			CHN 301 中国語 3 A	CHN 302 中国語 3 B
FRA 101 フランス語 1 A	FRA 102 フランス語 1 B	FRA 103 フランス語 1 C	FRA 104 フランス語 1 D	FRA 201 フランス語 2 A	FRA 202 フランス語 2 B			FRA 301 フランス語 3 A	FRA 302 フランス語 3 B
GER 101 ドイツ語 1 A	GER 102 ドイツ語 1 B	GER 103 ドイツ語 1 C	GER 104 ドイツ語 1 D	GER 201 ドイツ語 2 A	GER 202 ドイツ語 2 B			GER 301 ドイツ語 3 A	GER 302 ドイツ語 3 B
SPA 101 スペイン語 1 A	SPA 102 スペイン語 1 B	SPA 103 スペイン語 1 C	SPA 104 スペイン語 1 D	SPA 201 スペイン語 2 A	SPA 202 スペイン語 2 B			SPA 301 スペイン語 3 A	SPA 302 スペイン語 3 B
KOR 101 韓国語 1 A	KOR 102 韓国語 1 B	KOR 103 韓国語 1 C	KOR 104 韓国語 1 D	KOR 201 韓国語 2 A	KOR 202 韓国語 2 B			KOR 301 韓国語 3 A	KOR 302 韓国語 3 B

建学		
★ BDS 101 仏教概説	BDS 111 共生社会	BDS 201 しあわせを考える

健康体育科目				
HPE 101 健康体育 1	★ HPE 111 自己の探求	★ HPE 112 人生の歩き方を考える (キャリアデザイン)	HPE 201 健康体育 2	HPE 211 オリンピック文化論

フィールド・ワーク・スタディーズ科目			インターンシップ科目		
★ FW 101 フィールド・スタディーズ	FW 111/112/113/114 フィールド・スタディーズ 1/2/3/4	FW 121/122/123/124/125 海外フィールド・スタ ディーズ1/2/3/4/5	INT 201 インターンシップ (事前研究)	INT 211/212/213/214 インターンシップ 1/2/3/4	INT 221/222/223 海外インターンシップ 1/2/3

副専攻(サブ・メジャー) 科目群	
SUBM 201 サブ・メジャー (ゼミナール)1	SUBM 311 サブ・メジャー (総合研究)1
SUBM 202 サブ・メジャー (ゼミナール)2	SUBM 312 サブ・メジャー (総合研究)2

寄付講座科目			
EC 101 寄付講座1	EC 202 証券ビジネス論	EC 204 金融リテラシー (金融と人生設計)	EC 205 未来型都市とメディア

1年		2年				3-4年							
学部コア科目 ★ BDS 111 共生原理		アカデミック・スキル ★ LAW 281 プレゼミ				アカデミック・スキル LAW 381 プレゼンゼミ							
法学基礎 ★ LAW 101 法学1 (法学の基礎) ★ LAW 102 法学2 (法学概論)		民法法 ★ LAW 121 民法1 A (総則) ★ LAW 122 民法1 B (総則) LAW 2210 日本民法法1 (法学の基礎、民法総則)				民法法 LAW 221 民法2 A (物権) LAW 222 民法2 B (担保物権) LAW 2211 日本民法法2 (物権法、契約法、不法行為法)				民法法 LAW 223 民法3 A (債権各論) LAW 224 民法3 B (債権各論) LAW 2212 日本民法法3 (担保物権法、債権総論)			
行政法 ★ LAW 111 憲法1 (統治) ★ LAW 112 憲法2 (人権)		現代社会関係法 LAW 212 初レベルと法律学A LAW 213 初レベルと法律学B				行政法 LAW 211 行政法1 (総論①) LAW 271 International Lectures (Law) LAW 2214 民法演習				行政法 LAW 311 行政法2 (総論②) LAW 312 行政救済法 LAW 315 租税法1 LAW 316 租税法2 LAW 313 地方自治法1(自治の法と制度) LAW 314 地方自治法2(自治体政策法務)			
		企業法 LAW 241 企業法総論 LAW 341 会社法1 LAW 342 会社法2 LAW 343 企業取引法 LAW 344 比較取引法				企業法 LAW 321 民法5 A (親族法) LAW 322 民法5 B (相続法) LAW 323 民事訴訟法1 LAW 324 民事訴訟法2 LAW 325 執行・保全・倒産法				ゼミナール・卒業論文 ★ LAW 391 ゼミナール1 ★ LAW 392 ゼミナール2 ★ LAW 491 ゼミナール3 ★ LAW 492 ゼミナール4 ★ LAW 493 卒業論文			
		刑事法 ★ LAW 231 刑法1 (総論) LAW 232 刑法2 (各論) LAW 233 刑法3 (各論)				刑事法 LAW 331 刑事訴訟法1 LAW 332 刑事訴訟法2 LAW 333 刑事政策				国際関係法 LAW 361 国際法1 LAW 362 国際法2 LAW 363 国際機構論 LAW 364 国際私法 LAW 365 英米法 LAW 366 アジア法 (中国法・韓国法) LAW 367 アジア法 (東南アジア法)			
		資格対策科目 ★ CD 265 資格ガイダンス CD 261 地方公務員特殊研究1 (教の処理、図形問題) CD 262 地方公務員特殊研究2 (判断推理等)				資格対策科目 CD 363 地方公務員特殊研究3 (社会科学) CD 364 地方公務員特殊研究4 (一般教養) CD 361 キャリア開発				企業エクスターンシップ ★ CD 371 企業エクスターンシップ			
		隣接科目 政治 POLS 211 政治学史1 POLS 212 政治学史2 POLS 221 日本政治論 POLS 222 行政学 POLS 223 公共政策論1 POLS 224 公共政策論2 POLS 225 計量政治学 POLS 201 International Lectures (Politics)				隣接科目 政治 POLS 313 現代政治理論1 POLS 314 現代政治理論2 POLS 315 公共選択論 POLS 321 公共管理論 POLS 324 立法過程論 POLS 325 政策過程論 POLS 327 地方自治 POLS 341 国際関係論				現代社会関係法 LAW 351 労働法1 LAW 352 労働法2 LAW 353 社会保障法 LAW 354 経済法 (独禁法) LAW 355 知的財産法 LAW 356 消費者法 LAW 357 金融法 LAW 358 IT関係法 LAW 359 不動産評価論 (東京都不動産鑑定士協会寄付講座) LAW 3510 高齢化社会と法 LAW 3511 情報法 LAW 3512 マーケティング法			
		隣接科目 経済 ECON 202 経済学S1(経済学入門) ECON 215 経済学S2(ミクロ経済学) ECON 216 経済学S3(ミクロ経済学) ECON 225 経済学S4(マクロ経済学) ECON 226 経済学S5(マクロ経済学) ECON 241 財政学1 ECON 242 財政学2				隣接科目 経済 ECON 333 経済政策論							
		隣接科目 経営 BIZ 102 企業と社会 BIZ 103 経営学概論1 BIZ 104 経営学概論2 ACF 221 会計学1 ACF 222 会計学2 ACF 351 金融論1 ACF 352 金融論2 MNG 211 マーケティング論1 MNG 212 マーケティング論2 MNG 221 経営戦略論1 MNG 222 経営戦略論2				隣接科目 経営 BIZ 312 中小企業経営論							

■ コア科目
■ 基礎科目群
■ 基幹科目群
■ 展開科目群
■ エクスターンシップ
■ 資格対策科目群
■ アカデミック・スキル科目
■ 最先端科目群

★ 必修科目
 *各科目の履修条件は開講表を参照

法学部 法律学科 -2017年度入学生-

卒業所要単位数

2020年度版

☆進級基準科目

大区分	単位区分	科目の構成	所要単位数
武蔵野BASIS (29)	必 修 (25)	【建学科目】 仏教概説 [4単位]	4
		【健康体育科目】 自己の探求 [1単位] 人生の歩き方を考える (キャリアデザイン) [1単位]	2
		【情報科目】 コンピュータ基礎1 [1単位] ☆	1
		【外国語】 <1年次> 英語1A～1D [計4単位] ☆ <2年次> 英語2A～2D [計4単位] <3年次> 英語3A～3B [計2単位]	10
		【日本語リテラシー】 日本語リテラシー [1単位] ☆	1
		【基礎セルフディベロップメント】 基礎セルフディベロップメント (リベラル・アーツ7科) [6単位] ☆	6
	【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】 フィールド・スタディーズ [1単位]	1	
選 択 必 修 (4)	【発展セルフディベロップメント】 <2～4年次> 発展セルフディベロップメント [2科目4単位選択]	4	
法学部・経済学部コア科目 (必修) (2)	共生原理 [2単位]	2	
学科科目 (80)	必 修 (30)	【基礎科目群】 法学1 (法学の基礎) [2単位] 法学2 (法学概論) [2単位] 民法1A (総則) [2単位] 民法1B (総則) [2単位] 憲法1 (統治) [2単位] 憲法2 (人権) [2単位] 刑法1 (総論) [2単位] 【アカデミック・スキル科目】 プレゼミ [2単位] 【最先端研究】 ゼミナール1～4 [計8単位] 卒業論文 [2単位] 【エクスターンシップ】 企業エクスターンシップ [2単位] 【資格対策科目群】 資格ガイダンス [2単位]	30
	選 択 必 修 (34)	【基幹科目群】 [計20単位] 【展開科目群】 [計14単位]	34
	選 択 (16)	学科科目から16単位を選択 (34単位を超えて修得した選択必修の単位を含む)	16
自由選択科目 (13)	以下の科目から13単位以上を修得すること ①武蔵野BASIS (所要29単位を超えて修得した単位) ②学科科目 (所要80単位を超えて修得した単位) ③他学部・他学科履修許可科目 ④日本事情に関する科目 ⑤成果に基づき単位認定される科目 (「海外語学研修1～4」「資格認定 I～VII」「ボランティア活動1～5」等)	13	
合 計		124	

※ BASIS進級基準科目 (☆) 武蔵野BASISの進級基準科目を未修得の場合、進級要件に抵触し、次の学年に進級することができません。

※ 開講科目の名称は課程年度により変更となる場合があります。科目の名称変更と対応関係については開講表を確認してください。

※ 履修計画を立てる際には、必ず「[学修の手引き](#)」の「[履修計画](#)」や「[履修登録](#)」を参照してください。

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
【建学科目】						
BDS 101	仏教概説	1年	4			
BDS 111	共生社会	1年		2		
BDS 201	しあわせを考える	2年		2		
【健康体育科目】						
HPE 101	健康体育1	1年		1		2020年度以降は「スポーツと身体科学」を履修して読替
HPE 201	健康体育2	2年		1		2020年度以降は「フィールド・スポーツ」を履修して読替
HPE 211	オリンピック文化論	2年		2		2018年度以降は「オリンピック・パラリンピック文化論」を履修して読替
HPE 111	自己の探求	1年	1			
HPE 112	人生の歩き方を考える(キャリアデザイン)	1年	1			
【情報科目】						
CLT 101	コンピュータ基礎1	1年	1			進級基準科目 2020年度以降は「データ・情報リテラシー」を履修して読替
CLT 102	コンピュータ基礎2	1年		1		2020年度以降は「メディア・人工知能リテラシー」を履修して読替
CLT 211	情報分析力1	2年		1		2020年度休講
CLT 212	情報分析力2	2年		1		2020年度休講
CLT 221	情報表現力1	2年		1		
CLT 222	情報表現力2	2年		1		2020年度休講
SIC 103	情報分析・創出・表現技法	1年		1		
SIC 104	プログラミングリテラシー	1年		1		
【外国語】						
ENG 101	英語1A	1年	1			進級基準科目
ENG 102	英語1B	1年	1			進級基準科目
ENG 103	英語1C	1年	1			進級基準科目
ENG 104	英語1D	1年	1			進級基準科目
ENG 201	英語2A	2年	1			
ENG 202	英語2B	2年	1			
ENG 203	英語2C	2年	1			
ENG 204	英語2D	2年	1			
ENG 301	英語3A	3年	1			
ENG 302	英語3B	3年	1			
CHN 101	中国語1A	1年		1		①中国語・フランス語・ドイツ語・スペイン語・韓国語1A~1Dにおいて ◆通年の履修が必須。(1A+1Cのセットで履修、1B+1Dのセットで履修、または1A~1Dの全てを履修の3パターンのいずれか) ◆その言語を母語とする者および、その言語を公用語とする国に1年以上の滞在経験がある者は履修不可
CHN 102	中国語1B	1年		1		
CHN 103	中国語1C	1年		1		
CHN 104	中国語1D	1年		1		
CHN 201	中国語2A	2年		1		②中国語・フランス語・ドイツ語・スペイン語・韓国語2A・2Bにおいて ※第二外国語クラスは2Cおよび2Dの開講はありません。 ◆通年の履修が必須。(2A+2Bのセットで履修) ◆その言語を母語とする者および、その言語を公用語とする国に2年以上の滞在経験がある者は履修不可
CHN 202	中国語2B	2年		1		
CHN 203	中国語2C	2年		1		
CHN 204	中国語2D	2年		1		
CHN 301	中国語3A	3年		1		③中国語・フランス語・ドイツ語・スペイン語・韓国語3A・3Bにおいて ◆その言語を母語とする者および、その言語を公用語とする国に3年以上の滞在経験がある者は履修不可
CHN 302	中国語3B	3年		1		
FRA 101	フランス語1A	1年		1		
FRA 102	フランス語1B	1年		1		
FRA 103	フランス語1C	1年		1		
FRA 104	フランス語1D	1年		1		
FRA 201	フランス語2A	2年		1		
FRA 202	フランス語2B	2年		1		
FRA 203	フランス語2C	2年		1		
FRA 204	フランス語2D	2年		1		
FRA 301	フランス語3A	3年		1		
FRA 302	フランス語3B	3年		1		
GER 101	ドイツ語1A	1年		1		
GER 102	ドイツ語1B	1年		1		
GER 103	ドイツ語1C	1年		1		
GER 104	ドイツ語1D	1年		1		

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
GER 201	ドイツ語 2 A	2年		1		
GER 202	ドイツ語 2 B	2年		1		
GER 203	ドイツ語 2 C	2年		1		
GER 204	ドイツ語 2 D	2年		1		
GER 301	ドイツ語 3 A	3年		1		
GER 302	ドイツ語 3 B	3年		1		
SPA 101	スペイン語 1 A	1年		1		
SPA 102	スペイン語 1 B	1年		1		
SPA 103	スペイン語 1 C	1年		1		
SPA 104	スペイン語 1 D	1年		1		
SPA 201	スペイン語 2 A	2年		1		
SPA 202	スペイン語 2 B	2年		1		
SPA 203	スペイン語 2 C	2年		1		
SPA 204	スペイン語 2 D	2年		1		
SPA 301	スペイン語 3 A	3年		1		
SPA 302	スペイン語 3 B	3年		1		
KOR 101	韓国語 1 A	1年		1		
KOR 102	韓国語 1 B	1年		1		
KOR 103	韓国語 1 C	1年		1		
KOR 104	韓国語 1 D	1年		1		
KOR 201	韓国語 2 A	2年		1		
KOR 202	韓国語 2 B	2年		1		
KOR 203	韓国語 2 C	2年		1		
KOR 204	韓国語 2 D	2年		1		
KOR 301	韓国語 3 A	3年		1		
KOR 302	韓国語 3 B	3年		1		
【外国語 応用】						
AL 301	English for Studying Abroad 1	1・2年		1		
AL 302	English for Studying Abroad 2	1・2年		1		
AL 311	International Lectures 1	1・2・3・4年		1		
AL 312	International Lectures 2	1・2・3・4年		1	◆International Lectures1を履修していること。	
AL 101	英語資格・検定試験対策A	1年		1		
AL 102	英語資格・検定試験対策B	1年		1		
【日本語リテラシー】						
JL 101	日本語リテラシー	1年	1			進級基準科目
【セルフディベロップメント科目】						
<基礎セルフディベロップメント>						
SD 101	基礎セルフディベロップメント (リベラル・アーツ7科)	1年	6			進級基準科目 2018年度以降は「基礎セルフディベロップメント」を履修して読替
<発展セルフディベロップメント>						
SD 201	芸術のすすめ	2年		2		4単位選択必修
SD 202	数学的ものの考え方	2年		2		
SD 203	社会現象を分析する	2年		2		
SD 204	環境学への展望	2年		2		
SD 205	人間の心理を探る	2年		2		
SD 206	生命科学と人間	2年		2		
SD 207	市民の社会貢献	2年		2		
SD 208	市民生活と権利を考える	2年		2		
SD 209	現代メディアの探求	2年		2		
SD 210	社会情報と生活	2年		2		
SD 211	日本の歴史	2年		2		
SD 212	外国の歴史	2年		2		
SD 213	哲学への探索	2年		2		
SD 214	文化人類学への誘い	2年		2		
SD 215	文学を読み解く楽しみ	2年		2		
SD 221	ホスピタリティマインド概論	2年		2		選択必修対象外
SD 222	ホスピタリティマインド各論	2年		2		
SD 231	プレゼンテーション	2年		2		

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】						
FW 101	フィールド・スタディーズ	1年	1			学外学修の活動日数に応じて、単位修得できる科目が決定します。 履修登録は不要です。
FW 111	フィールド・スタディーズ1	1年		1		
FW 112	フィールド・スタディーズ2	1年		2		
FW 113	フィールド・スタディーズ3	1年		3		
FW 114	フィールド・スタディーズ4	1年		4		
FW 121	海外フィールド・スタディーズ1	1年		2		
FW 122	海外フィールド・スタディーズ2	1年		3		
FW 123	海外フィールド・スタディーズ3	1年		4		
FW 124	海外フィールド・スタディーズ4	1年		5		
FW 125	海外フィールド・スタディーズ5	1年		6		
【インターンシップ科目】						
INT 201	インターンシップ (事前研究)	2年		1	◆シラバスや初回授業に実施するガイダンスで確認すること	
INT 211	インターンシップ1	2年		1		
INT 212	インターンシップ2	2年		2		
INT 213	インターンシップ3	2年		4		
INT 214	インターンシップ4	2年		6		
INT 221	海外インターンシップ1	2年		4		
INT 222	海外インターンシップ2	2年		6		
INT 223	海外インターンシップ3	2年		8		
【副専攻 (サブ・メジャー) 科目群】						
SUBM 201	サブ・メジャー (ゼミナール) 1	2年		2		
SUBM 202	サブ・メジャー (ゼミナール) 2	2年		4		
SUBM 311	サブ・メジャー (総合研究) 1	3年		2	◆「サブ・メジャー (ゼミナール) 1」または「サブ・メジャー (ゼミナール) 2」を履修していること	
SUBM 312	サブ・メジャー (総合研究) 2	3年		4		
【寄付講座科目】						
EC 101	寄付講座1	1・2・3・4年		2		寄付講座：武蔵野市
EC 201	資金計画論	2年		2		2020年休講
EC 202	証券ビジネス論	2年		2		寄付講座：野村證券
EC 203	経済教育論	2年		2		2020年休講
EC 204	金融リテラシー(金融と人生設計)	2年		2		寄付講座：金融広報中央委員会
EC 205	未来型都市とメディア	2年		2		寄付講座：ピーエスフジ

履修条件については、「学修の手引き」の説明を確認してください。また、各科目の履修条件の詳細はシラバスを確認してください。

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
【法学部・経済学部コア科目】						
BDS 111	共生原理	1年	2			
【基礎科目群】						
LAW 101	法学1 (法学の基礎)	1年	2			
LAW 102	法学2 (法学概論)	1年	2			
LAW 121	民法1 A (総則)	1年	2			
LAW 122	民法1 B (総則)	1年	2			
LAW 111	憲法1 (統治)	1年	2			
LAW 112	憲法2 (人権)	1年	2			
LAW 231	刑法1 (総論)	2年	2			
【基幹科目群】						
LAW 221	民法2 A (物権)	2年		2		20単位以上選択必修
LAW 222	民法2 B (担保物権)	2年		2		
LAW 223	民法3 A (債権各論)	2年		2		
LAW 224	民法3 B (債権各論)	2年		2		
LAW 225	民法4 A (債権総論)	2年		2		
LAW 226	民法4 B (債権総論)	2年		2		
LAW 321	民法5 A (親族法)	3年		2		
LAW 322	民法5 B (相続法)	3年		2		
LAW 323	民事訴訟法1	3年		2		
LAW 324	民事訴訟法2	3年		2		
LAW 232	刑法2 (各論)	2年		2		
LAW 233	刑法3 (各論)	2年		2		
LAW 331	刑事訴訟法1	3年		2		
LAW 332	刑事訴訟法2	3年		2		
LAW 341	会社法1	3年		2		
LAW 342	会社法2	3年		2		
LAW 241	企業法総論	2年		2		
【展開科目群】						
<行政法>						
LAW 211	行政法1 (総論①)	2年		2		
LAW 311	行政法2 (総論②)	3年		2	◆「行政法1 (総論①)」を履修していること	
LAW 312	行政救済法	3年		2	◆「行政法1 (総論①)」を履修していること	
LAW 315	租税法1	3年		2		
LAW 316	租税法2	3年		2		
LAW 313	地方自治法1 (自治の法と制度)	3年		2		
LAW 314	地方自治法2 (自治体政策法務論)	3年		2		
LAW 212	オリンピックと法律学A	2年		2		
LAW 213	オリンピックと法律学B	2年		2		
<国際関係法>						
LAW 361	国際法1	3年		2		
LAW 363	国際機構論	3年		2		
LAW 362	国際法2	3年		2	◆「国際法1」を履修していること	
LAW 364	国際私法	3年		2		
LAW 365	英米法	3年		2		
LAW 366	アジア法 (中国法・韓国法)	3年		2		
LAW 367	アジア法 (東南アジア法)	3年		2		
<現代社会関係法>						
LAW 351	労働法1	3年		2		14単位以上 選択必修
LAW 352	労働法2	3年		2		
LAW 353	社会保障法	3年		2		
LAW 343	企業取引法	3年		2		
LAW 354	経済法 (独禁法)	3年		2		

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
LAW 355	知的財産法	3年		2		
LAW 356	消費者法	3年		2		
LAW 357	金融法	3年		2		
LAW 358	I T関係法	3年		2		
LAW 333	刑事政策	3年		2		
LAW 3510	高齢化社会と法	3年		2		
LAW 325	執行・保全・倒産法	3年		2		
LAW 344	比較取引法	3年		2		
LAW 3511	情報法	3年		2		2020年度休講
LAW 3512	マーケティング法	3年		2		
LAW 359	不動産評価論 (東京都不動産鑑定士協会寄付講座)	3年		2		
<法曹養成関係法>						
LAW 2214	民法演習	2年		2		
LAW 317	憲法演習	3年		2		
LAW 334	刑法演習	3年		2		
<英語>						
LAW 371	法律学文献講読(英語)	3年		2		
LAW 372	ビジネス法律英語	3年		2		
LAW 271	International Lectures (Law)	2年		1		2020年度休講
<中国語>						
LAW 2210	日本民法法1 (法学の基礎、民法総則)	1年		2	◆中国語を理解できること	
LAW 2211	日本民法法2 (物権法、契約法、不法行為法)	2年		2	◆中国語を理解できること	
LAW 2212	日本民法法3 (担保物権法、債権総論)	2年		2	◆中国語を理解できること	
LAW 2213	日本民法法4 (会社法、知財法)	2年		2	◆中国語を理解できること	
【エクスターンシップ】						
CD 371	企業エクスターンシップ	3年	2			
【資格対策科目群】						
CD 265	資格ガイダンス	2年	2			
CD 361	キャリア開発	3年		2		
CD 261	地方公務員特殊研究1 (数的処理、図形問題)	2年		4		
CD 262	地方公務員特殊研究2 (判断推理等)	2年		4		
CD 363	地方公務員特殊研究3 (社会科学)	3年		4		
CD 364	地方公務員特殊研究4 (一般教養)	3年		4		
【アカデミック・スキル科目】						
LAW 281	プレゼミ	2年	2			
LAW 381	プレゼンゼミ	3年		2		2020年度休講
【最先端研究】						
LAW 391	ゼミナール1	3年	2			
LAW 392	ゼミナール2	3年	2			
LAW 491	ゼミナール3	4年	2			
LAW 492	ゼミナール4	4年	2			
LAW 493	卒業論文	4年	2			
【隣接科目群】						
<政治学>						
POLS 211	政治学史1	2年		2		
POLS 212	政治学史2	2年		2		
POLS 313	現代政治理論1	3年		2		2020年度休講
POLS 314	現代政治理論2	3年		2		2020年度休講
POLS 221	日本政治論	2年		2		
POLS 324	立法過程論	3年		2		
POLS 325	政策過程論	3年		2		
POLS 225	計量政治学	2年		2		
POLS 222	行政学	2年		2		
POLS 223	公共政策論1	2年		2		
POLS 224	公共政策論2	2年		2		
POLS 315	公共選択論	3年		2		
POLS 327	地方自治	3年		2		
POLS 321	公共管理論	3年		2		
POLS 341	国際関係論	3年		2		
POLS 201	International Lectures (Politics)	2年		1		

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
<経済学>						
ECON 241	財政学 1	2年		2	◇「経済学S1(経済学入門)」を履修していること	
ECON 242	財政学 2	2年		2	◆「財政学 1」を履修していること	
ECON 333	経済政策論	3年		2	◆「経済学S3(ミクロ経済学)」かつ「経済学S4(マクロ経済学)」を履修していること	
ECON 202	経済学S1(経済学入門)	2年		2		
ECON 215	経済学S2(ミクロ経済学)	2年		2		
ECON 216	経済学S3(ミクロ経済学)	2年		2	◆「経済学S2(ミクロ経済学)」を履修していること	
ECON 225	経済学S4(マクロ経済学)	2年		2		
ECON 226	経済学S5(マクロ経済学)	2年		2	◆「経済学S4(マクロ経済学)」を履修していること	
<経営学>						
BIZ 102	企業と社会	1年		2	◇「経営学概論 2」を履修していること	2020年度休講
BIZ 103	経営学概論 1	1年		2		
BIZ 104	経営学概論 2	1年		2		
ACF 351	金融論 1	2年		2		
ACF 352	金融論 2	2年		2	◆「金融論1」を履修していること	
MNG 211	マーケティング論 1	2年		2	◆「経営学概論1」かつ「経営学概論2」を履修済(S~D評価修得済)であること	
MNG 212	マーケティング論 2	2年		2	◆「経営学概論1」かつ「経営学概論2」を履修済(S~D評価修得済)であること	
BIZ 312	中小企業経営論	3年		2	◆「経営学概論1」かつ「経営学概論2」を履修済(S~D評価修得済)であること	
MNG 221	経営戦略論 1	2年		2	◆「経営学概論1」かつ「経営学概論2」を履修済(S~D評価修得済)であること	
MNG 222	経営戦略論 2	2年		2	◆「経営学概論1」かつ「経営学概論2」を履修済(S~D評価修得済)であること	
ACF 221	会計学 1	2年		2	◆「経営学概論1」かつ「経営学概論2」を履修済(S~D評価修得済)であること	
ACF 222	会計学 2	2年		2	◆「経営学概論1」かつ「経営学概論2」を履修済(S~D評価修得済)であること	
[育成プログラム]						
EXPG 150	国家公務員育成プログラム 1	1年		1	◆育成プログラム生のみ	
EXPG 151	国家公務員育成プログラム 2	1年		1		
EXPG 250	国家公務員育成プログラム 3	2年		1		
EXPG 251	国家公務員育成プログラム 4	2年		1		
-	育成プログラム 1	時間割表参照		1		
-	育成プログラム 2	時間割表参照		2		
-	育成プログラム 3	時間割表参照		3		
-	育成プログラム 4	時間割表参照		4		
-	育成プログラム 5	時間割表参照		5		
-	育成プログラム 6	時間割表参照		6		
-	育成プログラム 7	時間割表参照		8		

履修条件については、「学修の手引き」の説明を確認してください。また、各科目の履修条件の詳細はシラバスを確認してください。

法律学科 履修モデル 2017年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学修希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

【モデル名】

ビジネス志向

【進路イメージ】

業種：金融機関 一般企業
職種：法務 知財部門など全般

【モデル概要】

民法、会社法、知的財産法、消費者法、金融法、IT関係法、ビジネス法律英語などを履修するとともに、近隣の企業・金融機関等でのエクスターンシップ（学外研修）を通じて、法律学の知識をビジネスにどう生かすかを学ぶことができます。

★必修科目 数字は単位数

科目区分		1年	2年	3年	4年	
武蔵野BASIS (29)	必修 (25)	建学科目	★ 仏教概説 4			
		健康体育科目	★ 自己の探求 1 ★ 人生の歩き方を考える（キャリアデザイン） 1			
		情報科目	★ コンピュータ基礎 1			
		外国語 英語	★ 英語1A～1D 4	★ 英語2A～2D 4	★ 英語3A～3B 2	
		日本語リテラシー	★ 日本語リテラシー 1			
		セルフディベロップメント科目	★ 基礎セルフディベロップメント (リベラル・アーツ7科) 6			
		フィールド・ワーク・スタディーズ科目	★ フィールド・スタディーズ 1			
		選択必修 (4)	セルフディベロップメント科目		発展セルフディベロップメント 4	
法学部・経済学部コア科目 (必修) (2)		★ 共生原理 2				
学科科目 (80)	必修 (30)	学科基礎科目群	★ 法学1 (法学の基礎) 2 ★ 法学2 (法学概論) 2 ★ 民法1A (総則) 2 ★ 民法1B (総則) 2 ★ 憲法1 (統治) 2 ★ 憲法2 (人権) 2	★ 刑法1 (総論) 2		
		アカデミック・スキル科目		★ プレゼミ 2		
		最先端研究			★ ゼミナール1～2 4 ★ 卒業論文 2	
	エクスターンシップ			★ 企業エクスターンシップ 2		
	資格対策科目群		★ 資格ガイダンス 2			
	選択必修 (34)	基幹科目群 (20)		民法2A (物権) 2 民法2B (担保物権) 2 民法3A (債権各論) 2 民法3B (債権各論) 2 民法4A (債権総論) 2 民法4B (債権総論) 2 刑法2 (各論) 2 企業法総論 2	会社法1 2 会社法2 2	
		展開科目群 (14)			ビジネス法律英語 2 企業取引法 2 比較取引法 2 労働法1 2 国際法1 2 国際法2 2 労働法2 or 国際私法 2 経済法 (独禁法) 2 知的財産法 2 IT関係法 2 消費者法 2 金融法 2	
		選 択 (16)	経営学概論1～2 4	経済学S1(経済学入門) 2 金融論1* 2 金融論2* 2	プレゼンゼミ 2 キャリア開発 2 中小企業経営論* 2	
		自由選択科目 (13)		コンピュータ基礎2 1		
		備考			*金融機関を志望するものは、選択科目で金融論1、2を推奨。あるいは、就職試験対策として、地方公務員特殊研究1 (数的処理、図形問題) を履修	*中小企業経営論、マーケティング論1、経営戦略論 1、不動産評価論、証券ビジネス論など進路や学修意向に応じて適した科目を履修すること
履修モデル 計		38	36	42	6	
履修上限単位数(CAP) ※1		40	44	44	40	
履修モデル単位数 ※2		合計 122単位				
卒業所要単位数 ※3		合計124単位以上				

※1 履修上限単位数(CAP)は前年のGPAによって拡大することがあります。

※2 履修モデルの合計単位数が卒業所要単位数に満たない場合、進路や学修指導に応じて適した科目を履修してください。

※3 卒業所要単位数は別途、卒業所要単位表も必ず確認し、必修科目や指定された科目の履修漏れが無いように気をつけてください。

法律学科 履修モデル 2017年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学修希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

【モデル名】

【進路イメージ】

【モデル概要】

公務員志向

国家公務員総合職（法律区分）、国家公務員一般職
地方公務員上級職(県庁、特別区、政令指定都市)
国家公務員専門職、地方公務員一般職

公務員試験に必要な憲法・民法・行政法・刑法・労働法や、経済学、さらに「地方公務員特殊研究1～4」あるいは育成プログラムを受講することで、資格試験合格につながる知識・能力を修得することができます。なお、国家公務員総合職（法律区分）は、経済学よりも刑法や労働法を履修することを推奨。専門試験のない市役所を目指す学生は、経済科目を履修する必要はありません。

★必修科目 数字は単位数

科目区分		1年	2年	3年	4年
武蔵野BASIS (29)	必修 (25)	建学科目	★ 仏教概説 4		
		健康体育科目	★ 自己の探求 1		
		情報科目	★ 人生の歩き方を考える(キャリアデザイン) 1		
		外国語 英語	★ コンピュータ基礎 1		
		日本語リテラシー	★ 英語1A～1D 4	★ 英語2A～2D 4	★ 英語3A～3B 2
		日本語リテラシー	★ 日本語リテラシー 1		
	セルフディベロップメント科目	★ 基礎セルフディベロップメント (リハバル・アーツ科) 6			
フィールド・ワーク・スタディーズ科目	★ フィールド・スタディーズ 1				
選択必修(4)	セルフディベロップメント科目			発展セルフディベロップメント 4	
法学部・経済学部コア科目(必修)(2)		★ 共生原理 2			
学科科目 (80)	必修 (30)	学科基礎科目群	★ 法学1(法学の基礎) 2	★ 刑法1(総論) 2	
			★ 法学2(法学概論) 2		
			★ 民法1A(総則) 2		
			★ 民法1B(総則) 2		
	★ 憲法1(統治) 2				
	★ 憲法2(人権) 2				
	アカデミック・スキル科目		★ プレゼミ 2		
	最先端研究			★ ゼミナール1～2 4	★ ゼミナール3～4 4
	エクスターンシップ			★ 企業エクスターンシップ 2	★ 卒業論文 2
	資格対策科目群		★ 資格ガイダンス 2		
選択必修 (34)	基幹科目群(20)	民法2A(物権) 2	民法2A(物権) 2	会社法1 2	
		民法2B(担保物権) 2	民法2B(担保物権) 2	会社法2 2	
民法3A(債権各論) 2		民法3A(債権各論) 2	民法5A(親族法) 2		
民法3B(債権各論) 2		民法3B(債権各論) 2	民法5B(相続法) 2		
民法4A(債権総論) 2		民法4A(債権総論) 2			
民法4B(債権総論) 2	民法4B(債権総論) 2				
選択 (16)	展開科目群(14)	行政法1(総論①) 2	行政法1(総論①) 2	行政救済法 2	ビジネス法律英語 2
				行政法2(総論②) 2	
				法律学文献講読(英語) 2	
				地方自治法1(自治の法と制度) 2	
				地方自治法2(自治体政策法務論) 2	
		経済学S1(経済学入門) 2	経済学S1(経済学入門) 2	地方公務員特殊研究3(社会科学) 4	
		経済学S2(ミクロ経済学) 2	経済学S2(ミクロ経済学) 2	地方公務員特殊研究4(一般教養) 4	
		経済学S3(ミクロ経済学) 2	経済学S3(ミクロ経済学) 2		
		経済学S4(マクロ経済学) 2	経済学S4(マクロ経済学) 2		
		経済学S5(マクロ経済学) 2	経済学S5(マクロ経済学) 2		
		地方公務員特殊研究1(数的処理、図形問題) 4	地方公務員特殊研究1(数的処理、図形問題) 4		
		地方公務員特殊研究2(判断推理等) 4	地方公務員特殊研究2(判断推理等) 4		
自由選択科目 (13)					
備考					進路や学修意向に応じて適した科目を履修すること
履修モデル計		33	42	38	8
履修上限単位数(CAP) ※1		40	44	44	40
履修モデル単位数 ※2				合計 121単位	
卒業所要単位数 ※3				合計124単位以上	

※1 履修上限単位数(CAP)は前年のGPAによって拡大することがあります。

※2 履修モデルの合計単位数が卒業所要単位数に満たない場合、進路や学修指導に応じて適した科目を履修してください。

※3 卒業所要単位数は別途、卒業所要単位数表も必ず確認し、必修科目や指定された科目の履修漏れが無いように気をつけてください。

法律学科 履修モデル 2017年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学修希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

【モデル名】

【進路イメージ】

【モデル概要】

国家資格志向

法曹、司法書士、行政書士、不動産鑑定士など

六法（憲法・民法・刑法・商法・民事訴訟法・刑事訴訟法）や行政法や労働法など司法試験に向けて履修するほか、法曹・土業プログラムを受講し、それぞれの資格試験科目に合わせて活用することで、資格試験合格につながる知識・能力を修得することができます。司法書士を目指す学生には、民法、会社法（商法）・民事訴訟法を推奨。行政書士を目指す学生には、憲法・民法・行政法・商法を推奨。不動産鑑定士を目指す学生には、不動産評価論を推奨します。

★必修科目 数字は単位数

科目区分		1年	2年	3年	4年
武蔵野BASIS (29)	必修 (25)	建学科目	★ 仏教概説 4		
		健康体育科目	★ 自己の探求 1		
			★ 人生の歩き方を考える（キャリアデザイン） 1		
		情報科目	★ コンピュータ基礎 1		
		外国語 英語	★ 英語1A～1D 4	★ 英語2A～2D 4	★ 英語3A～3B 2
		日本語リテラシー	★ 日本語リテラシー 1		
		セルフディベロップメント科目	★ 基礎セルフディベロップメント（リベラル・アーツ科） 6		
	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	★ フィールド・スタディーズ 1			
選択必修 (4)	セルフディベロップメント科目		発展セルフディベロップメント 4		
法学部・経済学部コア科目（必修）(2)		★ 共生原理 2			
学科科目 (80)	必修 (30)	学科基礎科目群	★ 法学1（法学の基礎） 2	★ 刑法1（総論） 2	
			★ 法学2（法学概論） 2		
			★ 民法1A（総則） 2		
			★ 民法1B（総則） 2		
			★ 憲法1（統治） 2		
			★ 憲法2（人権） 2		
	アカデミック・スキル科目		★ プレゼミ 2		
	最先端研究			★ ゼミナール1～2 4	★ ゼミナール3～4 4
	エクスターンシップ			★ 企業エクスターンシップ 2	★ 卒業論文 2
	資格対策科目群		★ 資格ガイダンス 2		
選択必修 (34)	基幹科目群 (20)		民法2A（物権） 2	会社法1 2	
			民法2B（担保物権） 2	会社法2 2	
			民法3A（債権各論） 2	民法5A（親族法） 2	
			民法3B（債権各論） 2	民法5B（相続法） 2	
			民法4A（債権総論） 2	民事訴訟法1 2	
			民法4B（債権総論） 2	民事訴訟法2 2	
			刑法2（各論） 2	刑事訴訟法1 2	
			刑法3（各論） 2	刑事訴訟法2 2	
			行政法1（総論①） 2	企業取引法 2	
				行政法2（総論②） 2	
				労働法1 2	
				労働法2 2	
				国際法1 2	
				国際法2 2	
選 択 (16)					
自由選択科目 (13)					
備考		隣接科目やBASIS科目(情報表現力)などから進路や学修意向に応じて適した科目を履修すること			進路や学修意向に応じて適した科目を履修すること
履修モデル 計		33	32	36	6
履修上限単位数(CAP) ※1		40	44	44	40
履修モデル単位数 ※2			合計 107単位		
卒業所要単位数 ※3			合計124単位以上		

※1 履修上限単位数(CAP)は前年のGPAによって拡大することがあります。

※2 履修モデルの合計単位数が卒業所要単位数に満たない場合、進路や学修指導に応じて適した科目を履修してください。

※3 卒業所要単位数は別途、卒業所要単位数表も必ず確認し、必修科目や指定された科目の履修漏れが無いように気をつけてください。

1. 留学の認定科目（科目読替の対象となる単位以外のもの）

留学区分	科目名	単位	科目区分	備考
協定留学	協定留学1	1	学科科目 (選択)	留学先の学修時間に応じて本学の認定可能な科目、及び左記科目を組み合わせるとして通年で40単位（半期のみ20単位）まで認定可能
	協定留学2	2		
	協定留学3	4		
	協定留学4	6		
	協定留学5	8		
	協定留学6	10		
	協定留学7	10		
認定（SAP）留学	認定留学1	1	学科科目 (選択)	留学先の学修時間に応じて、10単位まで認定可能
	認定留学2	2		
	認定留学3	4		
	認定留学4	6		
	認定留学5	8		
	認定留学6	10		
	認定留学7	10		
第2学期留学プログラム	短期留学プログラム1	1	学科科目 (選択)	留学先の学修時間に応じて、10単位まで認定可能
	短期留学プログラム2	2		
	短期留学プログラム3	3		
	短期留学プログラム4	4		
	短期留学プログラム5	5		
	短期留学プログラム6	6		
	短期留学プログラム7	7		
	短期留学プログラム8	8		
	短期留学プログラム9	9		
	短期留学プログラム10	10		
短期語学研修	海外語学研修1	2	自由選択科目 ※	留学先の学修時間に応じて各語学研修について、2単位から4単位まで認定可能
	海外語学研修2	3		
	海外語学研修3	4		
	海外語学研修4	4		

2. 資格試験の合格による認定科目（単位認定対象講座の受講が必要）

区分	科目名	単位	科目区分	備考
資格認定	資格認定Ⅰ	2	自由選択科目 ※	対象講座の受講が必要 (詳細はMUSCATでお知らせします)
	資格認定Ⅱ	2		
	資格認定Ⅲ	2		
	資格認定Ⅳ	1		
	資格認定Ⅴ	1		
	資格認定Ⅵ	1		
	資格認定Ⅶ	1		

3. 本学が認めたボランティア活動による認定科目

区分	科目名	単位	科目区分	備考
ボランティア活動	ボランティア活動1	1	自由選択科目 ※	ボランティア活動時間に応じて、1単位から4単位まで認定可能
	ボランティア活動2	1		
	ボランティア活動3	2		
	ボランティア活動4	2		
	ボランティア活動5	4		

4. その他本学が認めた単位認定

※ 自由選択科目の区分がある学科・課程年度が対象です（自由選択科目の区分を設けていない学科・課程年度においては、卒業要件外科目となります）。

【付録：卒業所要単位表・開講表の見方】

学科・課程年度によって武蔵野BASIS、学科科目の必修・選択必修・選択の区分、構成が異なります。各自、自身の学科・課程年度の卒業所要単位表・開講表を確認してください。

● 卒業所要単位表

〇〇学部 △△学科 -20XX年度入学生-

卒業所要単位数

大区分	単位区分	科目の構成	所要単位数
武蔵野BASIS	必修	単位区分に応じた科目名又は科目群	
	選択必修		
学科科目	必修		
	選択必修		
	選択		
自由選択科目※			以下の科目から〇〇単位以上を修得すること ①武蔵野BASIS（所要△△単位を超えて修得した単位） ②学科科目（所要××単位を超えて修得した単位） ・ ・ ・

武蔵野BASISのうち、必修、選択必修として必要な単位数を超えて修得した単位は自由選択科目に含まれます。

学科科目のうち、必修、選択必修として必要な単位数を超えて修得した単位は学科選択に含まれます。

学科選択科目に必要な単位数を超えて修得した単位は自由選択科目に含まれます。

※自由選択科目の区分の有無と対象となる科目の構成は学科・課程年度によって異なります。

● 開講表

自身の学部・学科、コース、課程年度（入学年度）であるか確認してください。

<公開年度>

年度によって科目の休講・廃止等があるため、最新年度の開講表を確認してください。

〇〇学部 XX学科 △△△△△△△コース -20XX年度入学生-

開講表 [学科科目]

20XX年度版

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
【基礎科目群】						
ABCD 101	××基礎 1	1年		2	◆全員履修	
ABCD 102	ゼミナル	1年	1		◆全員履修	
ABCD 103	XX学入門	1年		2		
ABCD 104	□□論 1	1年		1		
ABCD 201	□□論 2	2年		1		休講
ABCD 106	◎◎学	1年		1	◇××基礎 1を履修していること	
AABB 106	◇◇法	1年		2		
AABB 101	○△□論	1年		2		4科目の中から2科目 選択必修
AABB 102	□□論 1	1年		2		
GHIJ 104	△△学理論	1年		2		
【基幹科目群】						
PJK 101	○○学理論	1年		2		
PJK 102	△○学理論	1年		2		
CDR 101	◇◇学理論	1年		2		
CDR 206	□□論 2	2年		2	◆□□論 1を履修していること	

科目の分類を表します。

<開講年次>
履修が可能となる学年。
(上位学年の科目は履修できません。)

<科目番号 (ナンバリング)>

カリキュラムの体系的・段階的な構成を示すため、科目にはレベル、学問分野に基づいた科目番号が付けられています。ナンバリングを参考にすることで、学修の段階・レベルを意識して履修計画を立てることができます。レベルの詳細は、学修の手引きの「単位と科目」ページにある「ナンバリング (科目番号)」を確認してください。

<単位数>

必修科目の場合「必修」欄に、選択必修科目・選択科目の場合は「選択」欄に単位数が入っています。

<履修条件>

科目によっては、学習効果を高めるために、学修の段階に応じた履修条件が設定されています。設定されている場合は、開講表の履修条件欄、又はシラバスに記載されています。

<備考>

選択必修や休講科目の情報など、科目の補足情報が記載されています。